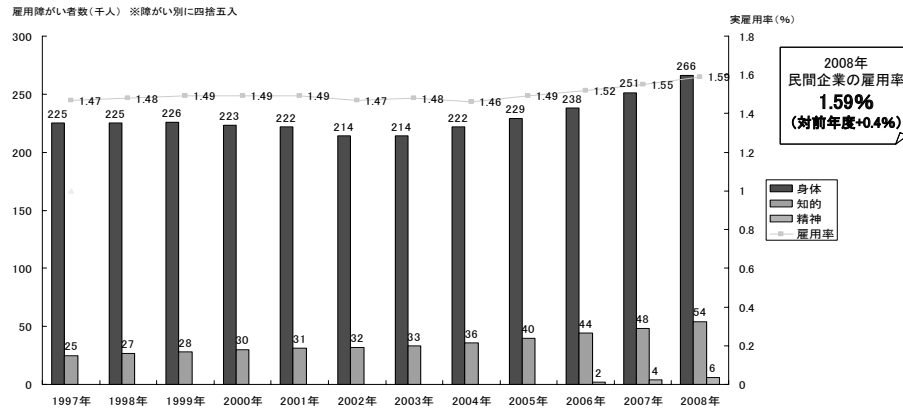


○障がいのある学生の就職活動の進め方について

民間企業(56名以上)における障がい者雇用状況・雇用率

厚生労働省発表資料より



2008年度の民間企業(56人以上規模)の全体の実雇用率は1.59%(対前年比で0.04ポイント上昇)となっています。雇用されている障がい者の数は325,603人で、前年より7.6%(約2万3千人)増加しております。このうち、身体障がい者は266,043人、知的障がい者は53,563人、精神障がい者は5,997人となっています。

2005年度まで

重度身体障がい者はダブルカウント ※短時間労働者を除く
重度知的障がい者はダブルカウント ※短時間労働者を除く

2006年度以降

重度身体障がい者はダブルカウント ※短時間労働者を除く
重度知的障がい者はダブルカウント ※短時間労働者を除く
精神障がい者である短時間労働者は0.5人でカウント

本資料の全部または一部の無断転載、複製、その他の二次的利用を禁止いたします。

○障がいのある学生の就職活動の進め方について

就職活動の流れ①(就職活動白書アンケートより)

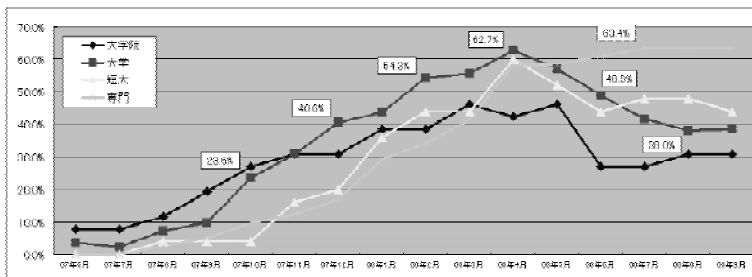
【就職活動の流れ】

- 1) 就職活動を行っていた時期
- 2) 企業エントリー時期と社数
- 3) 説明会参加時期と社数
- 4) 企業側が準備不足と感じた点
- 5) 就職活動を振り返って
- 6) 企業が選考で重視した点
- 7) 就職活動で困った点

09卒 就職活動白書

WebSana、サ～ナ、サ～ナ就職フェスタ会員
2009年卒業予定者
アンケート対象者 825名

学生Q1. 就職活動(企業研究等)を行っていた時期はいつですか?



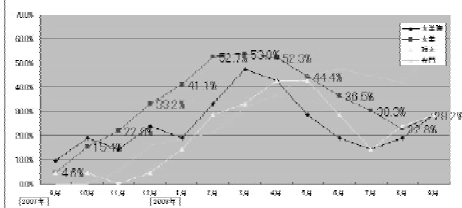
グラフと表からわかるとおり、就職活動は10月から大きく上昇し、4月～5月がピークとなっております。

本資料の全部または一部の無断転載、複製、その他の二次的利用を禁止いたします。

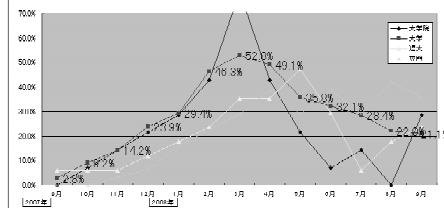
○障がいのある学生の就職活動の進め方について

就職活動の流れ②（就職活動白書アンケートより）

学生Q2. 企業へのエントリーをした時期と社数は何社ですか？



学生Q3. 会社説明会へ参加した時期と社数は何社ですか？



企業エントリー 社数				
	大学院	大学	短大	専門
1~4社	25.0%	15.5%	33.3%	48.7%
5~9社	12.5%	16.3%	28.6%	15.4%
10~19社	25.0%	20.2%	14.3%	17.9%
20~29社	8.3%	14.0%	9.5%	7.7%
30~49社	12.5%	16.3%	4.8%	7.7%
50~200社	16.7%	17.8%	9.5%	2.8%

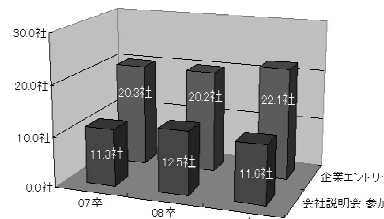
企業エントリーも11月・12月から始まり、2月・3月・4月にピークを迎えます。

企業エントリー社数の学種別では、大学院が1~4社、10社~19社が多く、大学では10社~19社、短大では1~9社、専門では1~4社が多くなっています。

また、会社説明会(セミナー)の参加社数は、大学院が同じく1~4社、10社~19社が多く、大学・短大では1社~19社、専門は1~4社と10~19社が多くなっています。

説明会参加に関しても企業エントリーと同じく3月がピークとなっています。

07卒~09卒の参加状況推移



本資料の全部または一部の無断転載、複写、その他の二次的利用を禁止いたします。

○障がいのある学生の就職活動の進め方について

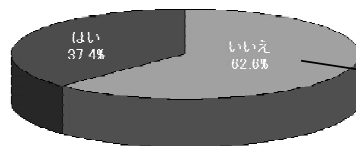
就職活動の流れ③（就職活動白書アンケートより）

企業Q1. 本年度の障がい者採用にあたって、応募者が準備不足と思われる点はありませんか？

新卒	感じた点	09卒	08卒
企業研究		66.3%	67.7%
自己分析		46.3%	36.4%
志望動機		51.3%	49.5%
自己PR		23.8%	19.2%
障がいの説明		5.0%	5.1%
ビジネスマナー		15.0%	7.1%
就職活動そのものの知識		21.3%	20.2%
その他		6.3%	4.0%

中途	感じた点	09卒	08卒
企業研究		58.5%	62.9%
自己分析		37.7%	37.1%
志望動機		52.8%	59.5%
自己PR		22.6%	26.7%
障がいの説明		7.5%	6.0%
ビジネスマナー		23.6%	10.3%
就職活動そのものの知識		20.8%	0.0%
その他		7.5%	6.9%

学生Q4. 就職活動を振り返って、十分な「企業研究」ができましたか？



理由(複数回答可)	割合
理解度が浅かった	50.4%
開始時期が遅かった	36.4%
どこから情報を得れば良いのかわからなかった	30.9%
研究する企業数が少なすぎた	18.2%
業界を限定しすぎた	14.0%
職種を限定しすぎた	11.9%
研究対象を広げすぎた	3.8%
その他	12.3%

本資料の全部または一部の無断転載、複写、その他の二次的利用を禁止いたします。